年間授業計画 様式例

高等学校 令和８年度（１学年用） 教科 美術 科目 素描(彫刻)

教 科： 美術　　科 目： 素描(彫刻)　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 2 組

使用教科書：（ ）

教科 美術 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに，独創的・創造的に表すことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ，創造的な思考力，判断力，表現力等を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み，感性を磨き，美術文化の継承，発展，創造に寄与する態度を養う。

科目 素描(彫刻) の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
描画材について理解を深めるとともに、対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する基礎となる技能を身に付けるようにする。	対象の質感・イメージや空間を把握するための基礎となる思考力，判断力，表現力等を育成する。	助言を活かしながら主体的に対象を観察し、造形表現を追求する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	単元 石膏像「ラボルト」 デッサン(木炭) 【知識及び技能】木炭の特性について理解を深め、首像を深く観察し表現を工夫する。 【思考力、判断力、表現力等】像のイメージや空間を把握するための基礎として思考力・判断力・表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】積極的に対象を観察し、表現を工夫をし、造形的な見方・考え方を身に付けようとする。	・指導事項 木炭紙と木炭の特性を知る。 ・空間、形態の正確な把握と描写について学ぶ。 ・教材 石膏像 木炭 木炭紙 ・タブレット端末の活用 作品を記録し、振り返りに活かす。	【知識・技能】 木炭や木炭紙の特性を理解し的確に描写できたか 【思考・判断・表現】 像のイメージや空間を理解し空間表現までできたか 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品や指導を作品に取り入れ工夫できたか	○	○	○	20
	単元 人物デッサン(木炭) 【知識及び技能】木炭の特性について理解を深め、人体の構造や質感を深く観察し表現を工夫する。 【思考力、判断力、表現力等】人体の特徴や空間を把握するための基礎として思考力・判断力・表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】積極的に対象を観察し、表現を工夫をし、造形的な見方・考え方を身に付けようとする。	・指導事項 木炭紙と木炭の特性を知る。 ・空間、形態の正確な把握と描写について学ぶ。 ・教材 石膏像 木炭 木炭紙 ・タブレット端末の活用 作品を記録し、振り返りに活かす。	【知識・技能】 木炭や木炭紙の特性を理解し的確に描写できたか 【思考・判断・表現】 像のイメージや空間を理解し空間表現までできたか 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品や指導を作品に取り入れ工夫できたか。	○	○	○	15
後期	単元 石膏像「マルス」 デッサン(木炭) 【知識及び技能】木炭の特性について理解を深め、首像を深く観察し表現を工夫する。 【思考力、判断力、表現力等】像のイメージや空間を把握するための基礎として思考力・判断力・表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】積極的に対象を観察し、表現を工夫をし、造形的な見方・考え方を身に付けようとする。	・指導事項 木炭紙と木炭の特性と形態の正確な把握と描写について ・教材 石膏像 木炭 木炭紙 ・タブレット端末の活用 作品を記録し、振り返りに活かす。	【知識・技能】 木炭や木炭紙の特性を理解し的確に描写できたか 【思考・判断・表現】 像のイメージや空間を理解し空間表現までできたか 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品や指導を作品に取り入れ工夫できたか。	○	○	○	20
	単元 人物デッサン(木炭) 【知識及び技能】木炭の特性について理解を深め、人体の構造や質感を深く観察し表現を工夫する。 【思考力、判断力、表現力等】人体の特徴や空間を把握するための基礎として思考力・判断力・表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】積極的に対象を観察し、表現を工夫をし、造形的な見方・考え方を身に付けようとする。	・指導事項 木炭紙と木炭の特性を知る。 ・空間、形態の正確な把握と描写について学ぶ。 ・教材 石膏像 木炭 木炭紙 ・タブレット端末の活用 作品を記録し、振り返りに活かす。	【知識・技能】 木炭や木炭紙の特性を理解し的確に描写できたか 【思考・判断・表現】 像のイメージや空間を理解し空間表現までできたか 【主体的に学習に取り組む態度】 参考作品や指導を作品に取り入れ工夫できたか。	○	○	○	15 合計 70